



主任講師:小出 馨
日本歯科大学新潟生命歯学部
歯科補綴学第1講座 主任教授

日本臨床歯科補綴研修会

自信と誇りをもって歯科治療が行える基準がここにあります (第52・53・54期)



基本8ヵ月コース 2020

基本8ヵ月コースは小出馨教授らが講師をつとめ、毎年多くの方々の参加を得て今年で30年目を迎えました。アンターグラジュエート教育では教わることがなく、補綴をはじめとする歯科治療の確に行っていくうえで、認識していなければならない重要事項を厳選してお伝えします。明日からでも臨床の現場で生かせるように、毎回実習を含めて、歯科医師、歯科技工士、歯科衛生士が共に楽しく学んでいます。翌年以降の再受講も可能です。2020年度も、多くのコースが開催されます。どなたも奮ってご参加下さい。

研修内容:日本臨床歯科補綴学会の基調講演が毎回含まれています。

1. 顎機能の診査・診断-I (咬合, 筋) 東京 4/4・5 大阪 4/11・12 福岡 4/18・19

1. 治療に不可欠な3つの診断とは、病態・発症メカニズム・エンドポイント
2. 顎関節の診査・診断に不可欠な顎口腔系機能解剖とは
3. 効果的な咬合診査のポイント
4. これならできる簡便で有効な筋触診法のポイント

2. 顎機能の診査・診断-II (顎関節) 東京 4/25・26 大阪 5/9・10 福岡 5/16・17

1. 顎関節の診査・診断に不可欠な重要事項とは
2. 正常顎関節と各種病態における特徴的徴候を認識する
3. 臨床で有効な顎関節の触診法4種を使いこなす
4. 診断に有効な顎路運動経路描記とその評価基準

3. 顎関節症の治療, 顎位の決定基準 東京 5/23・24 大阪 5/30・31 福岡 6/20・21

1. 従来の咬合採得法を再考し臨床に即してその基準を明確にする
2. 中心位を真に理解し評価するために不可欠な重要事項とは
3. 顎関節症の臨床症状と病態に応じた治療とは
4. 効果的なマニピュレーションテクニックと前処置・後処置とは
5. 臨床で有効なスプリントの設定基準と的確な調整の実際

4. 顎機能に調和した補綴物の製作 東京 7/11・12 大阪 7/4・5 福岡 7/18・19

1. 咬合器には何が求められているのか、プロアーチの機能と機構
2. 有効な前方ガイドの設定基準と的確な構成法を知る
3. M型側方ガイドの必要性和確実な構成法を認識する
4. 確実に迅速なチェックバイトと顎路調整のポイント

5. Cr.Br.と有床義歯の咬合構成基準 東京 9/12・13 大阪 8/22・23 福岡 8/29・30

1. 咬合構成の原則と「咬合構成の7要素」とは
2. 前歯部歯冠形態と歯列、審美の基準を共通認識にする
3. e-Ha Qの有効性和的確で迅速な咬合構成の実際
4. ディスクレージョン量と滑走間隙量の設定基準

6. 総義歯臨床のための診査・診断 東京 10/3・4 大阪 10/17・18 福岡 10/24・25

1. 難症例にはこう対応する(43段階での診断基準)
2. 迅速で的確な概形印象・筋形成・最終印象のポイント
3. 臨床で有効な咬合平面の設定法とは
4. 義歯研磨面の形態付与基準と試適時のチェックで何を見るか
5. 装着時の注意点とメインテナンスのポイント

7. パーシャルデンチャーの的確な設計システム 東京 10/31/1/1 大阪 11/7・8 福岡 11/14・15

1. 「残存組織保全と機能回復率向上の両立」を探索する
2. 力のコントロールと細菌への対応
3. 「設計の6要素」により予知性を高める
4. 「残存歯と粘膜」支持要素の診断基準とは
5. エーカースクラスプとRPIの設定基準を再構築する

8. リジットサポートの有効性と設定基準 東京 11/22・23 大阪 12/12・13 福岡 12/19・20

1. フルパラレルミリングとコーヌスクローネの利点・欠点は
2. パーシャルパラレルミリングの有効性と設定基準
3. ファンクショナルテーブルとフュージョンピンの的確な設定基準
4. 補綴治療の適正な評価基準とは
5. すれ違い咬合にはこう対応する

会場: 東京会場 新東京歯科技工士学校 東京都大田区大森北
大阪会場 日本ウェットラップ株式会社 大阪市淀川区宮原
福岡会場 リアランス大博多ビル貸会議室11F 福岡市博多区博多駅前
各回とも、1日目13:00-19:00 2日目9:30-16:00 ただし福岡会場のみ2日目9:00-15:30
会場の振替受講も可能です。メール出欠システムにてご回答下さい。日程は変更となる場合があります。

受講料:	全8回(教材)	前半4回(教材)	後半4回(教材)	【実習用配布教材】
歯科医師	770,000円(税別)	495,000円(税別)	330,000円(税別)	①顎関節用ステレオ撮影機 ②前歯部歯冠形態測定装置(CMコーダー) ③プロトタイプ3Dプリンターレーザー ④実習用無歯顎模型 ⑤リカライズドオールジ/特選型 ⑥実習用パーシャルデンチャー設計機 ⑦人工歯(上下前歯・臼歯) ⑧その他実習材料
歯科技工士	440,000円(税別)	253,000円(税別)	220,000円(税別)	
歯科衛生士	110,000円	歯科衛生士の方が単独で受講する場合 55,000円	歯科医師と一緒に受講する場合 勤務先の歯科医師が既に基本8ヵ月コースを受講されている場合も可	

*受講料には、二日目の昼食が含まれます。OB再受講はホームページで詳細をご確認下さい。
*歯科医師、歯科技工士コース全8回受講の場合は、分割払いのご相談も承ります。(要問合せ)

日本臨床歯科補綴研修会『基本8ヵ月コース』講師



「基本8ヵ月コース」についての詳細は学会ホームページをご覧ください。 <https://www.jcpsds.jp>

後援:日本臨床歯科補綴学会(JCPDS)、新東京歯科技工士学校、(株)鹿児島ミリングセンター、クルツアー・ジャパン(株)、日本ウェットラップ(株)
【お問合せ窓口: WEB・メール・FAX】日本臨床歯科補綴研修会 基本8ヵ月コース担当 mail: attend@jcpsds.jp FAX: 022-275-2918

